

R5 学校評価に関わるアンケート結果（各項目の平均数値）

中央小学校

日頃より、本校の教育活動へのご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。令和5年度の学校評価アンケートにつきまして、以下の通りお知らせいたします。お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

\*4段階評価（4：十分満足できる 3：満足できる 2：不十分である 1：まったく不十分である）

経営の重点	番号	評価項目	評価者	各評価指標	R4後期	R5	前年比
一 子ども達の「生きる力」に結びつく学力の確かな向上	①	1 基礎学力の定着【教務・学習】	教職員	検定や家庭学習と関連させながら、学習したことの定着を図っている。	3.38	3.29	↓
			児童	宿題やテストなどで、簡単な問題の間違いが少しずつ減ってきた。	3.13	3.28	↑
			保護者	お子さんは、宿題やテストなどで、簡単な問題の間違いなどが少なくなってきた。	2.90	2.79	↓
	②	2 ICT活用と指導方法の工夫改善【学習】	教職員	ICTが効果的に働くような活用場面や提示方法を考えた授業設計を行っている。	3.25	3.00	↓
			児童	実物を映し出した授業やタブレットを使った学習は、わかりやすいと思う。	3.46	3.34	↓
			保護者	参観する授業は、教科書や実物などを映し出した、わかりやすい授業になっている。	3.49	3.37	↓
	③	3 学習規律の徹底【教務・学習】	教職員	児童の実態を踏まえ、スタンダードを基本として定着に取り組んでいる。	3.25	3.21	↓
			児童	「学習の約束」を基本とした学習規律の定着を図ろうとしている。	3.24	3.26	↑
			保護者	学校の「学習の約束」を確認し、お子さんにも意識するよう促している	3.10	3.18	↑
	④	4 学習環境の整備【保体・生活】	教職員	学習に集中しやすいように、教室の環境を整えたり、教室内の整理をしている。	3.38	3.36	↓
			児童	机の中やお道具袋など、勉強に使う道具などは、きちんと整理している。	3.06	3.19	↑
			保護者	教室やその周辺は、落ちついて学習できる環境となっている。	3.48	3.35	↓
	⑤	5 家庭学習の習慣化【教務・学習】	教職員	学年の発達段階に応じた家庭学習の課題（宿題）を示し、忘れた場合の指導も行っている。	3.31	3.50	↑
			児童	土曜日や日曜日なども、できるだけ家で勉強している。	3.10	3.40	↑
			保護者	家庭学習に取り組む時間帯を決めて、集中して行えるようにしている。	3.01	2.91	↓
6 校内研修の充実【教務・学習】		教職員	自分の考えを持ちたり、考えたことを伝え聞き合う活動を、授業に取り入れている。	3.25	3.86	↑	
		児童	授業の中で、自分の考えを話したり、友だちの考えを聞いたりすることが多い。	3.18	3.24	↑	
		保護者	参観する授業は、子ども達の考えが多く出される授業になっている。	3.56	3.46	↓	
二 将来の自分に夢や希望を持って活動に取り組む態度の育成	①	7 学校生活の安定【生活】	教職員	学級の子供達が自己存在感・自己有用感を感じるように努めている。	3.31	3.00	↓
			児童	進んで取り組んで行ったことや、最後までやり遂げて嬉しかったことがある。	3.34	3.26	↓
			保護者	お子さんは毎日楽しそうに登下校している。	3.51	3.55	↑
	②	8 特別支援教育【特別支援・生活・学習・保体】	教職員	子どもの状況をよく相談しながら、その子どもに合った支援を、連携をとりながら行っている。	3.31	3.43	↑
			児童	勉強や友だちとの困っていることを、いろいろな先生に相談できる。	2.66	3.00	↑
			保護者	子ども一人一人に合った教育支援が、学校全体で行われている。	3.19	3.27	↑
	③	9 地域人材の活用【教務】	教職員	体験活動やゲストティーチャーなど、地域外部人材を活用した授業づくりを心がけている。	3.13	3.07	↓
			児童	担任の先生のほか、いろいろな人たちが先生となって勉強を教えてくれている。	3.57	3.56	↓
			保護者	学校は、地域の外部人材などを積極的に活用している。	3.23	3.30	↑
	④	10 地域との連携【各部】	教職員	地域と連携した活動に、機会を見ながら参加している。	2.81	2.79	↓
			児童	地域の方々に挨拶したり、お礼を言ったりしている。	3.32	3.47	↑
			保護者	地域と連携した活動に、機会を見ながら参加しようとしている。	3.15	3.14	↓
	⑤	11 道徳指導の充実【教務・学習・生活】	教職員	内容項目について、深く考えたり、交流したりする授業づくりに努めている。	3.06	2.93	↓
			児童	道徳の時間は、自分の考えを話したり、友だちの考えを聞いたりしながら、考えることが多い。	3.30	3.33	↑
			保護者	お子さんの心が育っていると感じる。	3.44	3.34	↓
⑥	12 いじめへの対応【教務・学習】	教職員	いじめを防ぐためにいじめを否定し、命の大切さや、自己肯定感を高める取組をしている。	3.18	3.50	↑	
		児童	いじめはどんな理由があっても絶対に許されないと思う。	3.83	3.73	↓	
		保護者	お子さんの自己肯定感を高め、いじめは許されないと認識しているか確認している。	3.43	3.36	↓	
三 継続した体力作りと安心で安全な学校生活の確立	①	13 運動習慣の育成【保体・生活・教務】	教職員	運動的な活動の取組や体育の授業の工夫改善を積極的に行っている。	3.20	3.14	↓
			児童	運動する機会があれば、進んで運動している。	2.97	3.23	↑
			保護者	お子さんは、進んで体を動かしたり、運動したりしている。	3.11	3.07	↓
	②	14 ノーメディアデーの推進【学習・教務・生活】	教職員	ノーメディアデーやノーゲームタイムの指導を行っている。	3.13	3.29	↑
			児童	ノーメディアデーやノーゲームタイムは、テレビゲームや携帯ゲームをしていない。	3.17	3.16	↓
			保護者	学校のノーメディアデーやノーゲームタイムの取り組みを理解し協力している。	3.31	3.18	↓
	③	15 安全指導【生活・教務】	教職員	避難訓練時など、中央小あんぜんブックを活用して指導を行っている。	3.44	3.64	↑
			児童	中央小あんぜんブックに書いてあることに気をつけて、生活をしている。	3.41	3.37	↓
			保護者	中央小あんぜんブックをもとに、お子さんと安全な生活や避難場所について確認をしている。	3.25	3.27	↑
	④	16 保健指導【保体・教務】	教職員	手洗いなどの声かけや、心と体の健康を意識した指導を行っている。	3.53	3.43	↓
			児童	早寝や早起きをしたり、手洗い、うがいなど、健康に気をつけた生活をしている。	3.69	3.31	↓
			保護者	お子さんは、健康的な生活リズムになるよう、心がけている。	3.44	3.26	↓

## R5 学校評価

### ◎保護者記述より

○テスト等でのちょっとしたミスが多いので、落ち着いて問題を解くように・終わったら見直しをするように…と話していますが、あまり定着していません。登下校に関しては、登校時、お友達が一緒だと喜んで行きますが、都合が合わず1人での登校になると途中まで母の付き添いが必要です。自己肯定感やいじめについて、避難場所に関しては、あまり家庭で話す機会が多くないので、もう少し考えられるように時間を作っていきたいと思いました。

○十分なお対応をしていただけていると感謝しています。

○「学校楽しい!」といつも元気に登校しています。

○いつも気にかけていただきありがとうございます。家庭環境等にもよりますが言葉使いだったり、相手の気持ちを考える事がまだ出来ない子どもたちが、見受けられます。それを見て聞いて嫌な気持ちになる子供が居ることを今一度確認してほしいです。その他は何も問題ないと思います。  
→道徳の時間や特別活動を充実し、相手を思いやる心を育ててまいります。

○学習発表会で、普段の学習の延長も良いのですが、昔の学芸会のような発表(劇や合唱等)が観たいです。  
→学校行事のねらいを踏まえながら、内容の工夫に努めてまいります。

○国語の文章問題を理解する事が難しいようで毎回テストでかなり間違えが多いです。何か対策をしたいのですが、算数のように繰り返し問題を解く事ができないし、自学でやるのも難しいので(ただ文章を書いているだけになってしまう)国語の文章問題の対策を教えてくださいと助かります。  
→国語科の授業や朝学習などを通して、理解が深まるよう指導に努めてまいります。学習の方法等、ご心配なことがございましたら、お気軽に担任または国語専科までご相談ください。

○筆箱の中身や下敷き、ファイルなど、キャラクターのついていない物とありますが、頂き物などたくさんあり、使いたいのですが。  
→学校ではできるだけ授業に集中して取り組めるよう学習環境づくりを行っています。ご家庭等でのご活用をお願いいたします。

○教育活動とは乖離してしまっていますが、校門側から反対側の道路に渡る為の横断歩道があった方が良いのでは?と思いました。  
→関係機関に問い合わせましたが、スクールゾーンのため設置は難しいとのこと。児童への安全指導に努め、地域・来校者の方へ児童の安全への協力を呼びかけてまいります。

○先生達も準備や評価でお忙しいと思いますが、子供と先生がお話できる時間がもっと増えると嬉しいです。  
→業務の改善を図りながら、子供たちと向き合える時間の確保に努めてまいります。

### ◎CS協議会より

CS協議会では、主に子どもたちの学習への取組や、地域と子ども・家庭・学校との関わりについて協議しました。学習では、学習習慣の定着のための取組について、参加者それぞれの立場から意見をいただきました。また、地域との関わりについては、子どもたちの安心・安全な環境づくりのために、家庭・地域・学校が協力していくことの大切さについて意見が交わされました。

学校へのご意見・ご示唆をいただきありがとうございました。アンケート結果をもとに、教育活動を充実させるために改善を進めて参ります。今後ともご支援とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。